

英語版

## 再々会

次に再会したのは、私がPh. D.の口頭諮問に無事パスした後の1990年3月でした。我々はハワイ、ホノルルで再会しました。しかし、私はこの頃最も貧しい時期でハワイへ行くだけの旅費もありませんでした。



それで、ユタ大学にポストドクとして留学していた吉田美穂子さんに1000\$を借りてハワイに行きました。カコは東京から、私はユタからホノルルに行きました。カコはキミさんのアパートに泊り、私はYMCAに泊まりました。これは5日間程の旅でしたが、人生で最も輝いた時でした。というのも、私がカコにプロポーズした時だったからです。毎日ワイキキビーチやホノルルの町を二人でドライブしました。最後の日にはキミさんのパーティーに招かれました。私とカコがタクシーでそこへ行くとき、ちょうどその会場となったキミさんのアパートの真上にきれいな虹がかかり、まさしく我々二人を祝福してくれているかのようなのでした。これほどロマンチックな虹は未だかつて我々は見たことがありません。





## 出発

その次に再会したのは、ふたたびソルトレイク市でした。私が無事にPh.D.をとった後の1990年6月でした。今度はふたりで実際に生活を私のアパートで始めました。初めは我々のまったく異なる文化（たぶん、私の育った関東甲府の文化とカコの育った関西徳島の文化の違い）のせいで、うまくいきませんでした。しかし、次第に我々は分かり会えるようになりました。これ以後現在まで、我々はずっと一緒に生活しています。これが我々の出会いです。



## 帰国そして就職

この1990年の10月に我々は日本へ帰国しました。成田空港では私の両親が車で迎えに来ていて、そのまま山梨県へ戻りました。そこでしばらく暮らした後、我々は東京駒込にある私の弟のマンションに転がり込みました。この間、一旦、カコの実家のある阿南市へ旅行しました。そして初めてカコの母親と会いました。そしてすぐにまた、弟のマンションに戻りました。当初、我々二人とも失業者でしたが、すぐに先にカコの職が元の職場--東京医科歯科大学歯学部附属病院--への再就職という形で見付き、そこで寮生活できるようになりました。

一方、私はこのマンションをベースに職探しを始めました。しばらく後、私の職が[富士通](#)で見つかりました。もっとも、これは偶然見付きました。たまたま私とカコが、東大キャンパスを歩いているとき、ふと和達三樹教授がいることを私が思い出し、彼の最近の論文をもらおうと彼に会いに行きました。彼に会って、私が最近ユタ大学の[ビル サザーランド教授](#)のところを卒業したという、彼は自分のところに来ている求人を教えてくれたのでした。すぐにこのとき教えてもらった2つの会社、東芝と富士通に問い合わせで見学に行き、結局そのうちの1つの富士通に就職が決まったのでした。

就職が決まってすぐに我々は弟のマンションから近くのマンションへ引っ越しました。ここで我々は日本で本当の水いらぬ時間を過ごしました。ここで過ごす間に、私は吉田美穂子さんの借金1000\$を返すことができました。また彼女がアメリカから一時帰国した折り、ここへ遊びに来ました。



[もっと前](#)   [もっと後](#)

[ホームページ](#) [和基](#) [和子](#) [維作](#) [奈蒔](#) [家族](#) [Donation](#)

---

「井口和基博士と家族のホームページ」  
〒774-0003 徳島県阿南市畷町新はり70-3  
井口和基 (C)2004